

NEWS 絆

東北生産性本部

「SHONAI(庄内)から世界へ東北地方の課題解決と事業戦略」

2025年度 仙台シンポジウム 11月例会開催

2025年度 仙台シンポジウム11月例会は、株式会社 SHONAI 代表取締役 山中 大介 氏
を講師にお迎えし、約50名の参加を得て開催いたしました

■例会（2025年11月 5日開催）

講師：株式会社 SHONAI 代表取締役 山中 大介 氏
(プロフィールなど)

1985 年生まれ、東京都出身。2008 年に慶應義塾大学環境情報学部を卒業後、三井不動産株式会社に入社し、「ラゾーナ川崎プラザ」や「ららぽーと」などの大型商業施設の開発と運営を担当。2014 年に三井不動産を退職し、山形県鶴岡市に移住。同年 8 月に「ヤマガタデザイン株式会社」(現・株式会社 SHONAI)を設立し、代表取締役に就任。

「地方の希望であれ」をビジョンに掲げ、観光・農業・教育に加え、地域企業の成長支援に取り組み、地方から新たな経済圏を創出することで、地域課題を未来への希望に転換することを目指す。スイデンテラス(ホテル)、アイガモロボ(農業ロボット)、チキズカン(人材採用支援)、KIDS DOME SORAI(教育施設)など、複数の事業を立ち上げ、グループ全体で 64 億円超(2025 年 10 月時点)の資本を調達。現在は「SHONAI 経済圏」構想を掲げ、全国各地で 100 億円企業を 1,000 社創出することを目指す。『カンブリア宮殿』『ガイアの夜明け』等のメディア出演多数。

【ご講演要旨】

(株)SHONAIについてのご紹介ですが、社名のとおり山形県の庄内に本社を置く会社です。なぜここに会社を設立したのか。高速が繋がっていないし、インフラが良くない、陸の孤島のような場所だが、歴史・自然・文化・食材が揃っている地方のいいところが全て詰まっている。

地方であるが故の課題がたくさんあり、地方課題を解決する事業を作りプロセス、スタンス、結果がほかの地方課題を解決する希望になればいいと思っている。庄内に暮らす人たちが、ここに住んで良かったと思ってもらえるような会社になっていきたいと思い、「地方の希望であれ」をビジョンに掲げている。



地方課題は庄内に限ったものではなく日本全国ほぼ同じ課題であると思っており、人口減少、少子高齢化の局面から端を発したねじれ・歪みが地方にある。仙台や福岡など地方の都市部は人口が増えているが、日本の人口は毎年 0.4% ずつ減少しており、庄内に至っては 1% ずつ減っている。

日本人の人口を増やそうとしたとき、子供を増やしましょうといってもこれは無理。成熟した先進国の中で合計特殊出生率 2 を越えている国はない。人口が増え続けている国からの移民受け入れたドイツ、フランス、オランダは想定を超えて増えている。日本の移民の議論は、40 年後、人口 1 億を下回った時に、確実に再燃する。



山形県が毎年 1% ずつ人口が減っているということは、100 年後山形県がなくなことを意味する。人口を増やすことは自分たちには出来ない、増やすには受け入れて行く方法でしかないが、では自分たちは何を指すのか。経済成長、GDP 率が止まった失われた 30 年を受け入れるのではなく、自分たちの未来は自分たちで変える

ことが出来ることを実証し、社会課題を新しい希望に変えること、新しい経済を作っていくことに日々事業に取り組んでいる。

地方の可能性を世界経済に繋ぐことをミッションに掲げ、そこには、IT や通信などのドメスティックなものでは勝負出来ない。これからの世界と戦う武器は、日本のリアルにあると思っていて、具体的には製造業、工芸、技術などこれらは地方に集まっており、世界が求める日本として大きな可能性がある。具体的には SHONAI グループにおける各事業について、地方課題への解決に向けたビジョンや将来についてご講演いただきました。

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。